O タ イ ト ル : 気仙がんの在宅療養研修会 2016

アンケート

〇 日 時 : 2016年5月21日(土)13:00~17:30(開場 12:30)

O 会 場 : 岩手県立大船渡病院 大会議室 岩手県大船渡市大船渡町字山馬越10-1

・ がん患者さんの在宅療養支援に関わっている方

○ 開 催 概 要 : がんを患った方とそのご家族が、その人らしい生活を維持しながら、自宅や施設な

どの身近な場所で過ごすための仕組みをつくりあげるとき、医療・介護・看護・福祉の幅広い職種で、患者さんやご家族の想いに寄り添いながら議論する事が大切です。岩手県気仙沼地域の在宅療養を支える専門職が一堂に会し、「がん患者さんが希望する場所で最期まで過ごすことのできる仕組みづくり」の実現に向けて、療養する患者さんとご家族を支える情報の共有と連携の必要性について話し合い

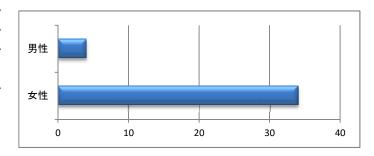
ます。

O 参加者数(講師含): 51

○ アンケート回収数 : 38

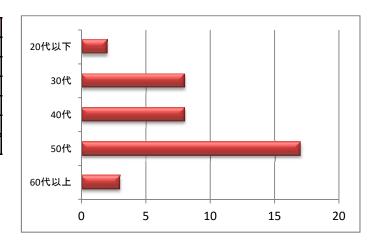
# ■性別を教えてください。

	答数	比率
男性	4	10.5%
女性	34	89.5%
合計	38	100.0%



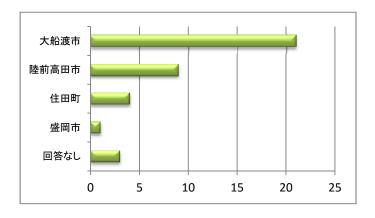
### ■年代をお選びください。

	回答数	比率
20代以下	2	5.3%
30代	8	21.1%
40代	8	21.1%
50代	17	44.7%
60代以上	3	7.9%
合計	38	100.0%



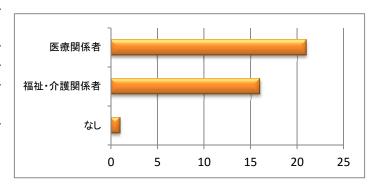
# ■お住まいの市町村を教えてください。

	回答数	比率
大船渡市	21	55.3%
陸前高田市	9	23.7%
住田町	4	10.5%
盛岡市	1	2.6%
回答なし	3	7.9%
合計	38	100.0%



#### ■職種をお聞かせ下さい。

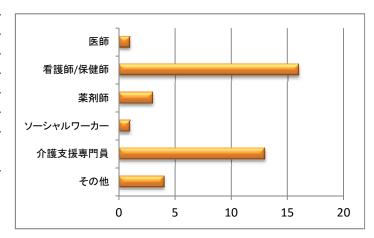
	回答数	比率
医療関係者	21	55.3%
福祉·介護関係者	16	42.1%
なし	1	2.6%
合計	38	100.0%



### ■上記で医療関係者および福祉・介護関係者に チェックされた方にお尋ねします。

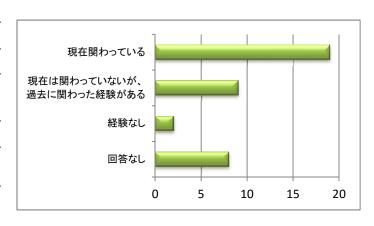
#### 職種・専門分野をお聞かせください。

	回答数	比率
医師	1	2.6%
看護師/保健師	16	42.1%
薬剤師	3	7.9%
ソーシャルワーカー	1	2.6%
介護支援専門員	13	34.2%
その他	4	10.5%
回答者数	38	100.0%



### がん患者さんやご家族等に対する相談支援に 関わったご経験をお聞かせください。

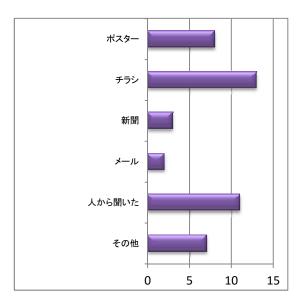
	回答数	比率
現在関わっている	19	50.0%
現在は関わっていないが、 過去に関わった経験がある	9	23.7%
経験なし	2	5.3%
回答なし	8	21.1%
合計	38	100.0%



# ■本日の研修会をどこで知りましたか。

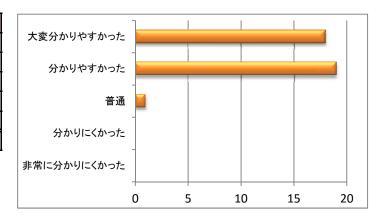
	回答数	比率	
ポスター	8	21.1%	
チラシ	13	34.2%	
新聞	3	7.9%	
メール	2	5.3%	
人から聞いた	11	28.9%	
その他	7	18.4%	
回答者数	38		
回答数	44		

<sup>※</sup>上記の比率は回答者数に対する比率です。



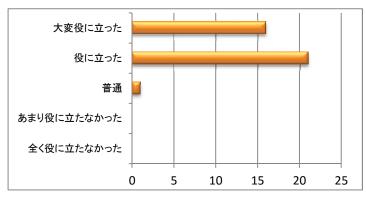
#### 研修会の「内容」は分かりやすかったですか。

##P_Z 05   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
	回答数	比率
大変分かりやすかった	18	47.4%
分かりやすかった	19	50.0%
普通	1	2.6%
分かりにくかった	0	0.0%
非常に分かりにくかった	0	0.0%
合計	38	100.0%



### 研修会の「内容」は役に立ちましたか。

	回答数	比率
大変役に立った	16	42.1%
役に立った	21	55.3%
普通	1	2.6%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
全く役に立たなかった	0	0.0%
合計	38	100.0%



- ■「ご意見・ご感想」より
- 様々な職種・立場の方の意見が聞けて良かった …14件
- 自分とは異なる職種の方の方向性、思いを知ることができた …3件
- 今後の仕事の励みになった …2件
- チームでサポートしていくためのネットワークづくり、コミュニケーションの大切さ を感じた …3 件
- ■9. 本日の研修会でもっと詳しく知りたかった点や議論したかった点、お感じになったことなどをご自由にお書きください。
- グループワークがよかった ···2 件
- 大船渡市の在宅医療の取り組みついて具体的に知りたかった
- 在宅移行時の感想、不安など聞きたかった
- 患者や家族、医療者への教育(浸透の仕方)
- ■10. 「地域における緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト」についてお尋ねします。プロジェクトでは、「がん患者さんとご家族のための在宅療養ガイド」の地域への普及と活用を目指しています。在宅療養ガイドをご覧になった感想、療養支援に必要な情報について、ご意見やご提案をお寄せください。
- 分かりやすい内容で良かった …5件
- もう少し薄手のほうがよい